

*GPA の目的

GPA (Grade Point Average) は、授業科目ごとの成績を評価し、1 単位あたりの平均を出す方法である。この GPA の制度は、学修の量ではなく「学んだ質」で評価するもので、学修を効果的に進めて教育の質を高めることを目的としている。

GPA 制度の下では、いったん履修登録した授業科目は、責任を持って確実に履修することが求められる。

*GPA の算出方法

- ①履修した科目の成績評価をそれぞれのグレードポイント (G P) に置き換え、その科目の G P に単位数を掛け、その合計を履修した単位数の合計で割り、1 単位あたりの平均点を算出する。

$$\frac{A+\text{の修得単位数}\times 4\text{点}+A-\text{の修得単位数}\times 3\text{点}+B\text{の修得単位数}\times 2\text{点}+C\text{の修得単位数}\times 1\text{点}}{\text{総履修登録単位数}} \quad \text{②参照}$$

- ②GPA 算出の対象科目は、共通基礎科目及び専門科目の資格に係わる科目 (保育士資格・幼稚園教諭二種免許状・介護福祉士・ビジネス実務士等) で履修登録された科目とする。
- ③GPA は、当該年度の学期 (学期 GPA) 及び年間 (年間 GPA) 並びに入学時からの累積 (累積 GPA) について算出する。
- ④GPA は、卒業判定の際の基準として用いられる。
- ⑤授業科目履修者に求められる成績水準の設定は、1.4 以上とする。設定された科目については、別に表示する。